

横須賀・三浦 放射線技師会報

- | | | |
|------------------|---------|--------|
| ○ 卷頭言 | 副会長 | 柳沢 正和 |
| ○ 「MRI 導入記」 | | 北部共済病院 |
| ○ 「挑戦」 | | 服部 祐治 |
| ○ 施設紹介 | | 聖ヨゼフ病院 |
| ○ 新入会会員紹介 | 横須賀共済病院 | 大内 芽来 |
| | | 田端 一輝 |
| ○ 原子力防災訓練参加報告 | | 中島伸一郎 |
| ○ 平成 14 年度理事役員紹介 | | |



No.83

Vol-28-No. 2 6. Dec. 2002

発行・横須賀三浦放射線技師会広報

巻頭言



心電図勉強会

副会長 柳沢 正和

心電図勉強会が平成14年10月11日、18日の両日に渡って横須賀市看護師協会、県臨床検査技師会、横須賀、三浦放射線技師会の3部合同で開催された。内容は圧縮され大変高度なものだった。開場には大きく首を前後してうなずく人もおおかつた。

もう数十年前になるが日本光電の本社（西武新宿線新井薬師）へ通ったことがある。片道3時間もかけて・・・そこで最初に出会った講師が日本棋院の囲碁4段の強者だった。日本棋院の4段と言ったらプロの棋士と対で勝負出来る実力である。恐れ入った・・・

師曰く『心電図は形で覚えるのではなく理屈で覚える物である。』そうすれば忘れないし応用も利く・・・正にそのとおり！！しかし理屈が難しい。

講義では隣に座った者同士相談して講師の質問に答えていいのだが、初回の基礎編は若い看護師さんが多く嬉しいやら、どう声をかけていいやらおじさんは困ってしまう。

2回目同世代の臨床検査技師と隣だった。良かったこれで安心と思ったら病理一筋20年転勤で心電図も携わるので勉強しに来た。えっ心電図は俺といい勝負・・・

3回目は学校の教務担当者だった。落ち着いていかにも賢そう！！デモやはり心電図については俺といい勝負・・・勉強するのに肩書きや見かけは関係ない！心電図は形からではなく理屈だ！！ここでも言えるのかな？

質問1心臓はポンプ作用が大切である。除脈（HR40以下）は全身に血液を送り出す力が少ないのだから問題である。では、瀬脈はどうして問題になるの？ヒント房室結節、His束は刺激の伝わり方が遅い（調整して）左右の脚から心筋に一気に伝わる。

質問2電気ショック（除細動）を使用すると心室細動が治る事があるが何故？ヒント心筋や刺激伝導系はそれぞれ固有の不応期（ある刺激で興奮している間は他の刺激が入ってきてもその刺激を受け入れない性質）があり大電流を流してその刺激の支配下に置き心室細動となる刺激を受け入れない（不応期）を強制的に作り出す。不応期以後自己の洞結節からの刺激を受け入れれば？答えはどうでもいいのだが、形でなく理屈だ！！と言う意味少し理解できたかな？

施設紹介①

MR I 導入記

横須賀北部共済病院放射線科 濱田順爾



①なんと、ウチにも入ったんですよ！えむ、エムアール、MR I が！

そう、今、私、ワクワク状態でございます。だって技師だも〜ん！身体は多少疲れていたりしますが、結構楽しいんだから、これが。

②聖ヨゼフ病院にちょっと遅れて、2002年10月、当院にもMR I が導入されました。もう私が当院に就職した15年前にもMR I の購入申請の話は聞いた気がします。ところがなかなか現実には厳しかった。そう、皆がずっとずっと待ち望んでいたものだったんです。そして、この急転直下の出来事は当院当科のスタッフに大きな大きな変化をもたらしました。お気楽なこの私が最初の担当者となり、まあお気楽は変わらないのですが、なんとまあ休みもとらずに毎日残業しながら頑張って(?) 仕事してるんです。で、私がMR I に張り付いているもんだから、他のスタッフにもしわ寄せが来ちゃって、当院放科はちょ〜忙しい職場になりました。皆さん分かりますよね。増員なしで一つのモダリティーが増えちゃったんですから、もうターイヘンです。

上司は増員交渉で、、、予約が入らなくて苦情の処理、、、定時で帰りたいのに検査が終わらない、、、イロイロ。普通ならもうイヤッつ、て言いそうなんですけど、ウチのスタッフは頑張ってます。



③いやいや、MRI？俺全然わかんないんだけど、ねえ～、松ちゃん教えて～。

なあ～んて、つい最近まで口にしてたのが、まるで嘘のよう。勉強していかないと日々の業務についていけなくなっちゃう。この歳になって初めて、いっぱい勉強しちゃってます。松ちゃんにはまだまだ聞くけど、、、。

でもまあ、俺の吸収力はトシ相応かな？ちょっぴりキビシイ。

④院長からの要求が厳しくて、撮影シーケンス、その組み合わせのプロトコール、フィルムの作り方、、、いろいろ調べます。で、隣の病院の大先輩に宴会の席で教を乞いました。「あのお、〇〇〇〇教えてもらいたいです～」「そおかあ、じゃつ、もう一件行こう！」

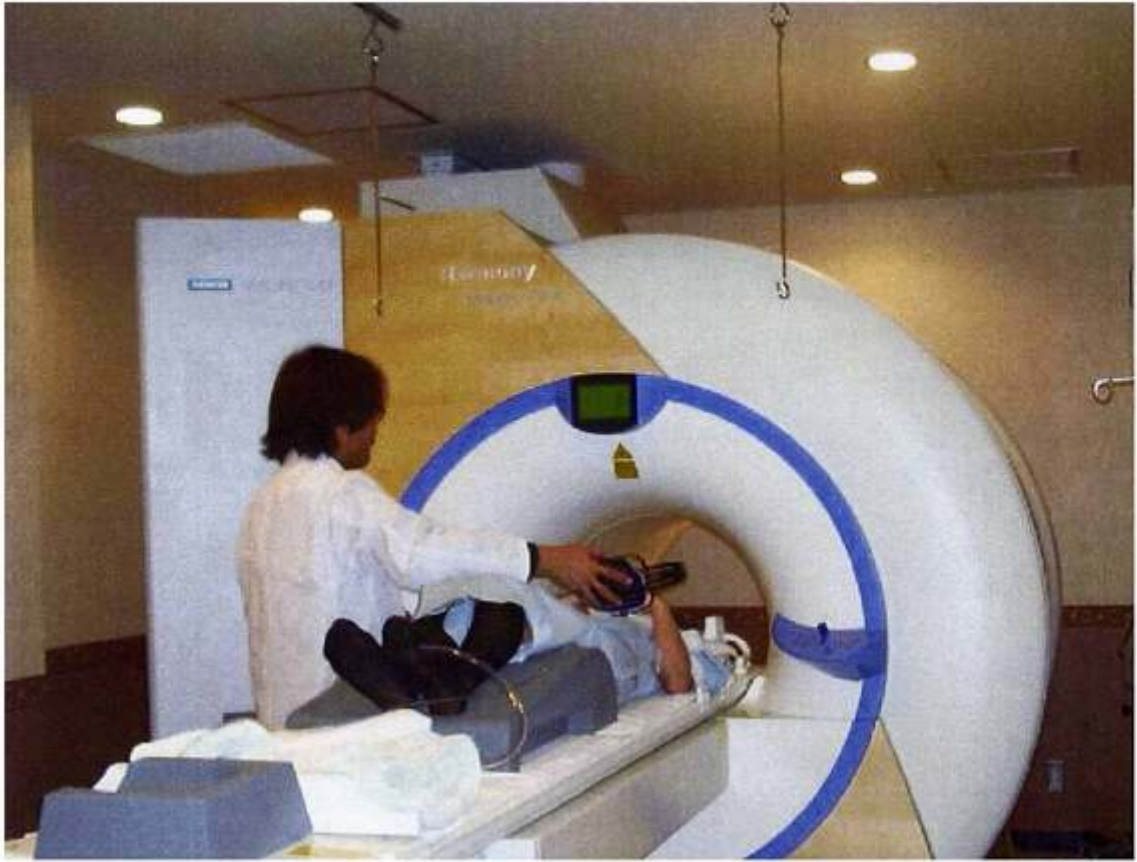
「えっ？ここじゃダメ、、、？で、す、か？わっ、分かりました～！」

教を乞うとはこういうことです。

⑤メーカーさんには分からないことは遠慮せずに、こんなアホなことなんて思わずに、どんどん質問しましょう。今はその場でメーカーに電話しながら操作して、1つの検査を終える事だって出来るのです。私はこのシチュエーションで、初めてMRCPの撮影の流れを知りました。メーカーさんは優しく教えてくれます。

⑥近隣の病院のノーハウも遠慮せずに聞く姿勢を持ちましょう。教を乞うことを恥と思う必要はないと思います。幸いこの地区には、かなりのノーハウが蓄積されています。おまけに感激するくらいオープンです。みんなでシェアしようというオープンな気持ちがあるからこそ、勉強会もあるんです。そして感謝の気持ちを忘れずに。

⑦MRIには騒音(?)が付きものです。で、各社ステレオなどの音響設備も付属させたりしています。患者さんに音楽を聞かせたり、そんな中、自分の好きな曲だっけかけちゃいます。まあ、あまりにも患者さんの年齢層に合っていない選曲はムリですが、たまには自分のオーディオルームにしちゃいましょう！私は家からCDいっぱい持ってきてます。



挑戦！

北部共済病院 服部祐治



見るもの、聴くものすべてが新鮮であった。
この4月、永年勤務した横須賀共済病院を、お役御免となり北部共済病院へと転勤となった。私物の整理をしたが、27年間の整理はなかなか大変であり、立つ鳥あとをにごしたまま飛び立ってしまった。

はじめて経験する電車通勤、乗り遅れまいとあせりながら飛び乗った、乗った瞬間、緊張しているためか汗が噴出して止らないのである。横須賀中央から乗り、汐入、逸見、安針塚、そして田浦へ着いた。汗が引かず、ハンカチでずいぶん長くなった額と、首筋をぬぐいながら改札へと向かい、昨日買ったばかりの定期券を自動改札へ入れ、受け取ろうとしたが抜けずに機械に入ったままである。後ろに続く顔、顔、顔・・・。2週間くらいになるとだいぶ馴れ、汗はでなくなり、自動改札の定期券も何年も通勤しているかのように、うまく受け取れるようになった。

転勤先の北部共済病院は、規模的に横須賀の3分の1くらいの規模であり、医療形態は介護療養型、介護医療型、一般外来のミックス型であり、新人オリエンテーションでの説明は、ケアミックス型と説明された。職員は320名くらいで、朝出勤すると皆さんが「おはよう」声をかけてくださり、わずかの期間にだいぶ顔見知りとなった。非常に家族的な病院であり、新天地である放射線科の仲間にはずいぶん良くして頂いている。

また、この4月に院長が関沢院長から桑名院長へとバトンタッチされ、新院長の方針で今後は進んでいくものと思われる。

横須賀共済を去るにあたり、仲間に盛大な送別会をおこなっていただいたが、職種を超えて多くの方々に列席いただいた事は、私の大きな財産である。ずいぶんと迷惑をかけてきた事と思うが、あたたかく見守ってくださりただ感謝のみである。人生の途中で、このような大きな転機が訪れようとは思っても見なかったが、医療職で活かされてきた事に感謝しつつ、今までつちかった知識、経験を通して北部共済はもちろんのこと、地域医療に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思う。

施設紹介②

聖ヨゼフ病院

橋本 文夫

話せばながい事ながら・・・、

法人70周年記念誌によれば、「聖ヨゼフ病院は、その前進を横須賀海仁会病院と云い、当時の日本海軍軍人の家族を対象として、昭和14年、現在の本院が旧日本海軍によって設置されたものである。昭和20年、日本の敗戦と同時に米海軍に接收され、(中略)病院をブルトン司教とその創立になる聖母訪問会によって経営されるように懇請された。(さらに途中略)こうして、昭和21年7月15日、名称を聖ヨゼフ病院と改めて発足した。」と、あります。

先日、70年配の老紳士がフッと技師室を訪ねて来られました。懐かしそうに辺りを見回して、かつてこの病院に入院していた将校の当番兵であった事を話されていました。ややして、「この度は、自分のような『若イモノ』がお世話になります」と、直立不動で敬礼をされ、思わずこちらも起立敬礼しそうになりました。キット青春時代の思い出がよみがえって来たのでしょうかネ。

現在は、一応総合病院という事で、内科、リウマチ科、外科、整形外科、リハビリテーション科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科を標榜しております。

また、検診室をはじめとし、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、福祉用具貸与事業所を併設しています。

放射線科スタッフは、非常勤医師2名、診療放射線技師5名、看護婦1名、事務員1名の内容です。装置等は、一般撮影2台、X線TV2台(1台は断層付き)、乳房撮影1台、外科用イメージ、ポータブル、CT、MRIとなっています。MRI導入にあたっては、MRI室直下に京浜急行のトンネルが通っており、電車の発着の度に磁気の影響を受ける事となり、対策のために稼動が遅れをきたしました。

(設置前の環境測定は、どうなっていたんでしょーネ。)

平成10年に導入したFCR3000は、横須賀・三浦地区では比較的にかかった方で「あの聖ヨゼフ病院が、」という事で、その後のCR導入に繋がったものと思います。

病院の坂下には、さいかやデパートがあり、当直者は閉店時間まぎわのタイムサービスを利用して豪華な夕食を買い求めるチャンスがあります。主婦の皆さんを相手に、デパチカで熾烈な争奪戦を行います。独身技師は、これで体力をつけているそうです。

建物が古く、坂上に立地しているため、患者さんにご迷惑をおかけする事も多いのですが、親子3代にわたって聖ヨゼフ病院を、という方もおられます。

私たちは、先人の努力によって築かれた患者さんとの信頼関係を大切に、新しい医療の在り方について模索したいと思います。

聖ヨゼフ病院ホームページ <http://www.st-joseph.jp/>



●電車・バスでお越しの場合

- ・京浜急行横須賀中央駅より徒歩7分
- ・JR横須賀駅より
バス 1・2・6番線(堀内・衣笠西)から
大滝町バス停下車(3つ目)
徒歩3分

※駐車場もご用意しております。(50台)



社会福祉法人 聖母訪問会
総合病院 聖ヨゼフ病院

〒238-8502 神奈川県横須賀市緑が丘28

TEL 0468-22-2134

FAX 0468-22-3134

平成14年度理事役員紹介

学 術



横須賀北部共済病院 濱田順爾

どもども、毎度おなじみハマダでございます。

私、あの加村先生が会長の頃、、、からですので、もうかれこれ「ン年」もの長きに渡って学術部に居座っております。今でこそ大きな顔をしておりますが、最初はワッケ分からなかった！もうそろそろ他のこともやらせて貰いたい！まったく長老どもは俺の使い方を知らん！なあ〜んてブツブツ言いつつ、実は結構好きだったりして、、、イヤン。



横須賀市立市民病院に、勤務しております中島です。このたび学術の担当になりました。

前回、私が理事の時に会長であられた栗田さんは亡くなられ、広報でお世話になった千葉さんは、新会長として技師会をリードされています。そして、私は、おじさんになりました。

こんな私ですが、濱田さん、斉藤さん、加藤さんに、ご迷惑をかけますが務めていこうと、決意しています。よろしく、お願い致します。



今期、学術を務めさせていただいております、三浦市立病院の加藤です。

学術という最も苦手な分野でしたが、なんとかうまくやっけていけていると思います。

さて、当病院はやっとのことで、建て替えが決まり、そしてすでに着工しております。規模的には、今と同じ位なのですが、中身としては、必ず良くなるものと思われま。マイナーチェンジではなく、フルモデルチェンジなので、やる気と希望が湧いてくる今日この頃です。今は大事な時期なので、これ以上詳しく書くことができませんが、平成17年完成予定なので、そのときは皆さん是非お立ち寄り下さい。よろしく申し上げます。

監 査



逗葉地域医療センターの安藤悦夫です。監査として二期目になります。

2年間、理事会に出席して（ただ出席しているだけでしたが）、ある程度理事の仕事が理解できたと思っています。今期は、少しでも皆さんの役に立てれば幸いかと思っています。何卒、よろしくお願いします。



監査担当横須賀共済病院二田勇です。

技師会理事は、加村先生が会長のとときに、学術を北部共済筑前先生と一緒に担当させて頂き、新倉会長の時は、庶務を担当して来ました。会員・賛助会員の皆様には何かと迷惑を掛けたのではないかと考えております。

千葉新会長の組閣では監査役を命じられ、監査役といえ、長年理事を担当してきました衣笠の鈴木先生の役とっておりました。監査役の仕事は年一回の大事な監査が有ります。

安藤先生と共に年一回の大事な仕事を、微力ながら安藤先生には迷惑の掛からないよう勤めたいと思いますので宜しくお願いいたします。

広 報



広報担当 畠山です。

皆さんの邪魔にならぬようヒソソリ頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いします。

新入会会員紹介

横須賀共済病院

大内 芽来



横須賀共済病院の大内です。

6月から勤務し始めて早いもので半年がたちました。11月からは部署も変わり新たに覚えることがたくさんあり大変ですが、仕事にも横須賀の街にも慣れてきて、充実した日々を送っています。

先日、地区技師会の研究会で初めて発表させて頂きました。緊張と不安で上手くしゃべれませんでした。無事終えることができました。

衣笠病院の奥野先生のお話はとても興味深く聞くことができ良かったです。これからも勉強することたくさんあると思いますががんばっていきたいと思います。

横須賀共済病院

田端 一輝



昨年7月より横須賀共済病院でお世話になっております、田端 一輝と申します。

初めに、免許取得後3年目にもかかわらず、なかなか技術、知識の上がない未熟な私を、指導、教育していただいている共済病院の諸先輩方に感謝致します。

共済病院に入職して、まず初めに一般撮影部門に配属されCRを初めて扱わせて頂き、撮影条件の幅が広く、ポータブル撮影などが楽になる反面、CRの難しさを知りました。

次にCT部門に配属され、WW、WLの設定はとても難しくロスフィルムをたくさん出してしまいました。

そして、現在は心カテ、X線TV、アンギオ部門に配属され、注腸検査の勉強中で、毎日悩んでいます。

又、これからの課題として患者数の多い病院なので、効率を上げて仕事を速くしなければと思っています。今後とも、先輩技師の御指導をいただき診断価値の高い画像を提供し患者さんに貢献していき考えています。よろしく御願致します。

放射線科医紹介

横須賀市立市民病院
前林 俊也



平成 14 年 4 月より横須賀市立市民病院へ赴任いたしました。はやいもので 9 ヶ月が過ぎようとしていますが、やっと病院の雰囲気慣れてきた気がいたします。

出身は長野県で幼少のころは山に囲まれ生活していましたが、海の見える生活に憧れており、念願通りに現在は海の見える生活をしています。落ち着いて海岸を散歩することが憧れですが念願をかなえることは、ほど遠い毎日を過ごしています。

私は平成 10 年度卒業で放射線治療と画像診断および IVR を行っています。新しい治療装置が 4 月より稼働し自分の不手際もあり忙しい状態としてしまいましたが、放射線技師の皆さんらに支えられ、現在は滞りなく行われています。

これからさらに頑張っていきますので宜しくお願いします。

筑前一郎さん闘病記

皆さんご存じの北部共済病院の筑前一郎さんがこの暮れに定年退職され、さてこれから羽を伸ばして過ごそうかと思った矢先、健診で直腸に異常が見つかり、横須賀共済病院にて病氣療養する羽目となりました。11月末に退院され経過は順調で本人も元気です。

技師会としてお見舞いに行ったところ、主治医にスポーツはいつ頃から出来ますかと早速訪ね夢は早ウィンタースポーツの世界と言ったところ??

筋トレに励み、酒を節制しガンバルぞ!!決して絶つとは言はなかった。まあ以前より少なければ確かに節制ですから??まずはご報告まで。

原子力防災訓練参加報告

中島 伸一郎



横須賀市の地域防災計画原子力災害対策計画、に基づき平成14年8月20日に原子力軍艦の災害を予想して訓練が行われた。

横須賀市の参加要請を受け横須賀・三浦放射線技師会は、横須賀共済病院から沼田・大石、北部共済病院から濱田、横須賀市民病院から中島が参加した。詳しい内容は、神奈川県放射線技師会誌 Vol 5 5 No 3 Sep. 2002 P30 地区だより 沼田さんの報告をご覧ください。

横須賀市以外の関連機関の参加は、文部科学省・日本分析センター・海上保安部・海上・陸上自衛隊・OFセンター・神奈川県・各警察・市医師会・株GNF・立教大学等でした。

我々が参加した避難・医療活動等訓練は、横須賀アリーナ体育館でサーベランス及びスクリーニングを避難住民（逸見・汐入連合町内会の皆さん）に対して行ないました。

夏の暑い時期、防護服に見を固め消防士と二人一組になり15名ほどのボランティアに対してサーベランスを行い被災地住民登録票をつくり、除染を実施する。この時の、タイベック防護服は機密性が高くそのため、メチャメチャ暑くサウナスーツを着ているようで、皆さんご苦勞様でした。

地域の方の参加も多く、原子力災害に対する関心の高さが伺え、気の抜けない訓練でした。ただ、アメリカ海軍の参加が無く不確かな部分もありましたが、横須賀市の意気込みだけは、示せた訓練だったと思いました。



第三回横須賀三浦放射線技師会釣り大会報告

狩野 聡



去る、10月28日（日）に九比里は山下丸さんにて、初の横浜南部技師会さんとの合同カワハギ釣り大会を行いました。

両技師会とも14名づつに別れ賛助会員さんを含め総勢28名が第32号山下丸に乗り込み8時に出船となりました。

当日の天気は良いものの、南西風が強くメインの釣り場である剣崎沖まで行けないとの船長の判断にて九里浜沖で竿をださざるをえず、近隣の船宿も殆ど、ここに集結していました。風が強いせいで波気もかなり加わり前後左右に揺れながらの釣りでカワハギの当たりもとらずらく、苦戦していましたが1時間ほど立つうちにだんだんタイミングも合ってきて、周りでもポツポツ釣れてきました。

わたしは2時間程竿を出したところで、カワハギの握り寿司の準備にとりかかるべく釣りを中断し、大揺れのキャビンの中で悪戦苦闘すること2時間。13時過ぎには昨日釣った鱈もまじえ、70巻ほどの握り寿司が完成し、皆さんに召し上がっていただきました。お味の方は如何でしたか？

また、今年のカワハギの特徴としては、大釣こそそのぞめないものの、型が大きいことと、肝の熟成が早かったように思われます。

残念ながらマグロになってしまった人も2～3名おりましたが、各々楽しい釣りのできたのではないのでしょうか。

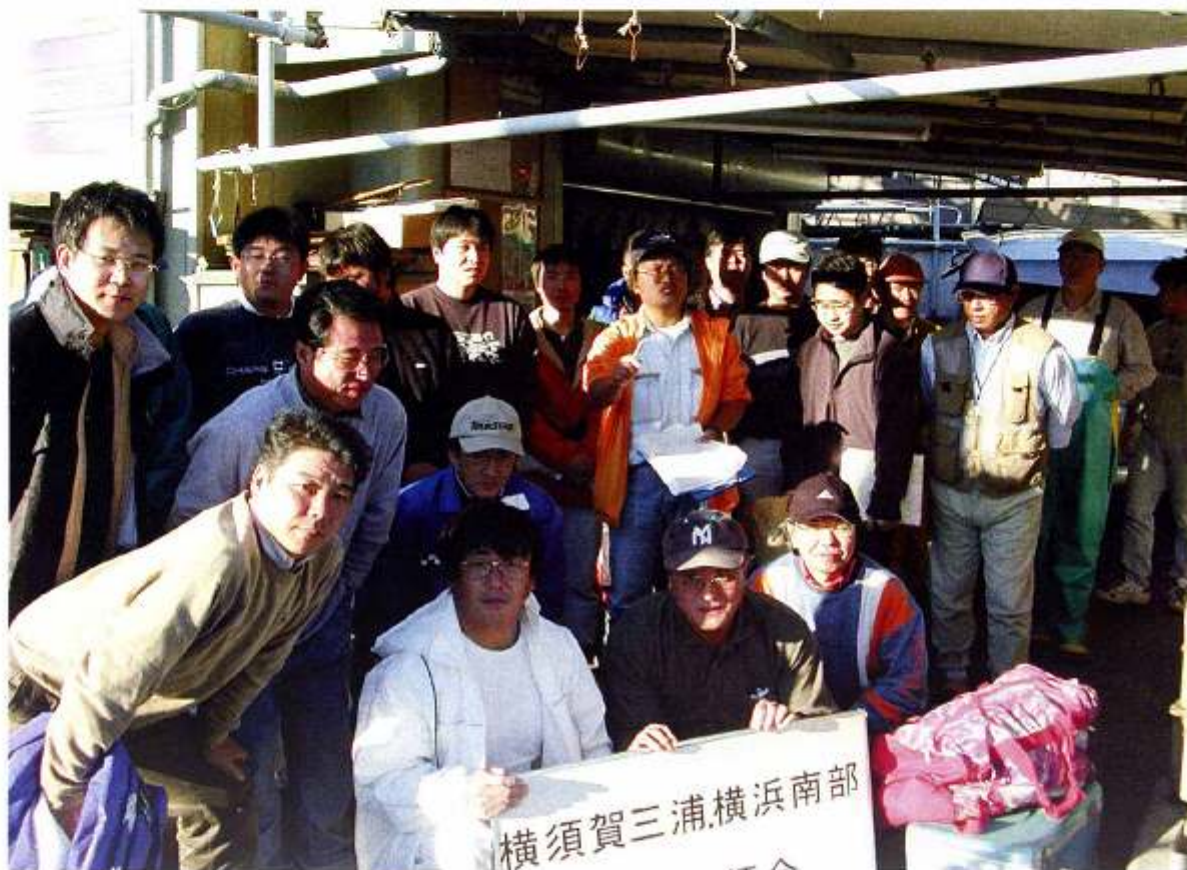
さて、結果はチーム横三63枚、チーム南部65枚で南部技師会さんに、わずか2枚差で敗れてしまいました。

| | | | | |
|--------|----|---------|------|-------------|
| 又、個人では | 1位 | 衣笠病院 | 及川氏 | 10枚 |
| | 2位 | 横浜南共済病院 | 小笠原氏 | 9枚 |
| | 3位 | 横須賀市保健所 | 大寺氏 | 8枚 |
| 高級外道賞 | | 横浜南共済病院 | 玉村氏 | (ハタ) |
| 大物賞 | | 横須賀市保健所 | 大寺氏 | (カワハギ27センチ) |
| 幹事長賞 | | 衣笠病院 | 千葉氏 | (マグロ70キロ見当) |

以上の方が上位入賞の面々です。

とういうわけで皆様大変お疲れ様でした。

来年はたくさん釣れる鱈かなァ～？



第3回横須賀三浦放射線技師会釣り大会 10月28日(日)

被ばく医療対策検討会報告

宮村 聖也



平成14年9月24日（火）

- ① 平成14年8月20日に横須賀アリーナに於いて開催された横須賀市原子力防災訓練の反省について横須賀市消防局、森下氏から訓練実地結果について報告。

1. 目的

横須賀市地域防災計画原子力災害対策計画に基づき、市、国、県、防災関係機関及び市民が共同で防災訓練を実施することにより市民の安全確保、強化を図る。

また、原子力艦の災害対策が新たに盛り込まれた防災基本計画、県の原子力災害対策計画との連携も合わせて検証する。

2. 日時 平成14年8月20日（日）午前9時～正午

3. 訓練想定

原子力軍艦のモニタリングポストにおいて、通常の50倍以上の値を検知したという想定のもとで一連の訓練を行う。

4. 訓練内容及び実地場所

- 1) 災害対策本部設置及び運営訓練（災害対策本部室）
120インチの大型プロジェクター（2台）
- 2) 市、県、国の防災関係機関との連絡・情報収集訓練（災害対策本部室）
テレビ会議システム
- 3) 防災関係設備及び資機材の運用訓練（ウエルシテイ周辺ほか）
県警の電光表示板、消防局のタイベックスーツ
- 4) 緊急時モニタリング訓練（市内18ヶ所）
ヴェルニー公園付近での放射線測定他
- 5) 屋内退避及び情報伝達訓練（ウエルシテイ周辺）
防災専門官による公演（生涯学習センター）
- 6) 避難及び医療対策訓練（横須賀アリーナ）
 - ・ 逸見駅入り口交差点付近の避難訓練
 - ・ 車椅子での避難
 - ・ サーベイメータによるサーベランス（表面汚染の検査）
 - ・ 医師による外傷の手当
 - ・ 健康相談（医療救護所）

5. 成果

- 1)本市の原子力災害対策計画の実効性の検証
- 2)防災関係機関相互の連携の検証
- 3) 関係職員の原子力資機材の操作習熟
- 4)住民の原子力防災対応の学習
- 5)住民の防災意識の高揚
- 6)緊急被ばく医療、緊急時モニタリングの習熟

6. 課題

- 1)参加した各機関と反省点、問題点を洗い出し、今後の原子力防災対策または訓練に生かす必要がある。
- 2)国が平成14年4月に修正した防災基本計画に沿った国のマニュアルが完成した時点での国、県、市、関係機関、市民が一体となった訓練の実地が必要である。
- 3)米軍の参加の必要性。

7. 参加機関及び参加人員

文部科学省 内閣府 消防庁 国土交通省 日本分析センター
海上自衛隊横須賀地方総監部 海上自衛隊第31普通科連隊 陸上自衛隊通信学校
横須賀オフサイトセンター 横須賀海上保安部 神奈川県 神奈川県警
横須賀警察署 田浦警察署 北里大学 横須賀医師会 横須賀三浦放射線技師会
(株)グローバル・ニュークリアフェル・ジャパン 立教大学原子力研究所
逸見連合町内会 汐入連合町内会
(参加人員) 約350名

- ① 被ばく医療マニュアル作成について
- ② その他

平成14年10月21日(月)

- ① 被ばく医療マニュアル作成について
横須賀市発行の「わたしたちの生活と放射線(原子力防災のしおり)」の一部を掲載に
する件について検討。
- ② 一次医療機関受け入れ体制について
被ばく災害時による事業所から関係機関への情報の流れについての検討。
- ③ その他

地区委員会報告

相ヶ瀬あゆ子



平成14年9月12日（木）

7月理事会報告

【報告事項】

1、会長報告

- ・ 県公衆衛生協会理事会
- ・ 神奈川県医療専門職連合会 前会長中平氏叙勲祝
- ・ 神奈川県医療専門職連合会理事会
- ・ 放射線技師専門責任者研修会
- ・ 賛助会懇談会
- ・ 事務局慰労会
- ・ 表彰について
- ・ その他

2、各委員会報告

2-1 総務委員会

新入会員3名、退会会員1名、転出0名、転入1名 会員数 1521名（7/25）

2-2 財務 会費滞納者リスト

2-3 編集委員会

会誌179号の編集作業

会誌180号発行日（9/24）と原稿日締切日（8/29）の確認

会誌「神奈川放射線」の掲示板に掲載されている〈会員の住所変更〉
個人情報保護により勤務先のみ掲載する。

2-4 学術委員会

平成14年度神奈川県診療放射線技術講習会の役割分担

胸部画像研修会（専門）についてテーマ、講師の選定

- ・ 平成14年11月9日（土）13:00～17:00
- ・ 横浜情報文化センター 情報ホール、会費 1000円（100人）

第23回神奈川県病院学会

- ・ 11月29日（金）「21世紀の医療と病院の役割」

2-5 厚生・福祉委員会

施設調査回答率 45.6%

女性技師アンケート調査について

2-6 保健委員会

横浜市救急医療センター三部会合同会議（7月14日）

- ・ 事業実績
- ・ 使用装置 CR導入を要望

レクリエーションの日程

- ・ ゴルフコンペ：平成14年10月27日（日）『会誌掲載』
- ・ ボーリング：平成15年 1月25日（土）『予定』

2-7 組織委員会（7月11日）

2-8 IT委員会（7月11日）

【審議事項】

3-1 放射線技師部門責任者研修会の反省

3-2 賛助会懇親会の反省

3-3 川崎市北部小児救急対策協議会

- ・ 現在執務希望者 22名
- ・ 体制がきちんと整うまでもう少し待ってから責任あるスタートをする

3-4 会費未納者対策

- ・ 9月30日が滞納期限

3-5 平成14年度県技術講習会開催

3-6 本会出版物の再版について

- ・ 「心」著小林先生、「医療の中の放射線」の再版

3-7 その他

- ・ 村山 弘先生を囲む会

8月理事会報告

【報告事項】

1、 会長報告

- ・ 田中 守氏叙勲祝（鶴見大学技師長）
- ・ 村山 弘を囲む会
- ・ 放射線管理士・機器管理責任者認定試験
- ・ 県技術講習会
- ・ 川崎市小児救急対策協議会

2、 各委員会報告

2-1 総務委員会

新入会員6名、退会会員2名、転出1名、転入0名 会員数 1,524名（8/29）

2-2 学術委員会

胸部画像研修会（専門）について講師の選択

- ・ 平成14年度11月9日（土）13:00～17:00
- ・ 横浜情報文化センター 情報ホール、会費1,000円（100人）

- ・「胸部CTの検査法」国立診療所神奈川県病院
副技師長 花井耕造氏
 - ・「X線CT装置の最新技術の動向」
東芝メディカル 主任 佐藤雅治氏
 - ・「胸部CTの画像診断」国立がんセンター
気道縦隔科医長 楠本昌彦氏
- 神奈川県放射線技師会生涯教育カウントシステムの変更

2-3 編集委員会

会誌 No 179 号の反省

- ・ アドレスの ne 落ち、また大きく
- ・ 全項においてインク薄い
- ・ 地区活動報告をマニュアル化（場所、日時、参加人数、）
- ・ 会誌 No180 号発行予定日変更 9月24日から9月30日に変更

2-4 保健委員会

- ・ 横浜市救急センター 第2回連絡協議会・研修会の企画
- ・ 川崎市北部小児急病センター 対策協議会の開催
実動開始日程 10月1日（火）とする。
暫定実動として「横浜市救急センター」希望者メンバーで9月16日（祝）～30日（月）を執務する。

2-5 厚生・社会福祉委員会

- ・ 平成14年度施設調査回答率 48.6% (154/337)
- ・ 平成14年度健康調査率 185名
- ・ 搬出型企業年金保健制度廃止手続き進行中
- ・ 女性技師アンケート調査結果は会誌にて掲載する

【審議事項】

- 3-1 第1回県技術講習会の反省
午前 288名 午後 208名
- 3-2 川崎市北部小児急病センター対策協議会
- 3-3 技師会中期計画を年度事業として進める。委員長：早川理事
- 3-4 平成14年度全国学術大会（新潟）神奈川県では65枚販売した
- 3-5 県医療専門連合会慈善公演会 9月28日（土）～
- 3-6 認定法令講習会 もう一度神奈川で開催するよう企画
- 3-7 胸部画像専門研修会 学術委員会（案）が理事会で承認された。
- 3-8 県病院学会 一般の演題の締切は9月10日
- 3-9 県公衆衛生学会 今年50周年を迎える。演題締切：8月30日
- 3-10 その他 生涯教育委員会、賀詞交歓会の日程、場所を検討

平成14年第2回理事会議事録

日時 7月18日 16:30より

場所 衣笠病院 ホスпис

司会 柳沢副会長

出席者 18名

議題 1)千葉会長挨拶

2)各部報告①庶務経過報告 松村理事より(資料参照)

②会計報告 須藤理事より(資料参照)

③学術報告 濱田理事より(資料参照)

④広報報告 宮村理事より

資料そろわず遅れている。7月中には発行する予定。

⑤福利厚生報告 狩野理事より

6月30日ゴルフコンペ 会員12名、賛助会員8名

7月6日三部合同納涼大会 50名(総勢)

南部地区と合同で釣り大会を催したい。10月27日カワハギ 定員30名

⑥YMBIT報告 柳沢副会長より(資料参照)

3)救急センター報告 松井理事より

7月1日より自現機更新された。年2回の保守契約結んでいる。7月8日にX線装置の保守点検あり、異常なしとのこと。

4)地区委員報告 相ヶ瀬理事より(資料参照)

5)その他①MRI勉強会について(MRI技術研究会) 服部副会長より

7月5日に横須賀共済にて世話人会開催。技師会と関係無く、シェーリングのバックアップで行う。(らせんCT研究会と同様の体制)

10月26日に横須賀共済にて第1回MRI技術研究会を開催。

「MRI導入での安全対策」メーカー(今回はシーメンス)の講義と全員でのフリートーク

②被曝医療について 宮村理事、服部副会長より

横須賀市独自のマニュアルの作成を始めている。(今年中に完成予定)

国のマニュアルが完成している。整合性をつめている。

8月20日に不入斗総合体育館で横須賀防災訓練開催。

放射線技師4名出席要請あり、横須賀共済 大石、沼田 2名、市民病院から、宮村 1名 横須賀北部から濱田1名の予定。

③第91回勉強会は、11月16日に衣笠病院にて開催。

④理事会に資料は事前に渡せるものについては、フロッピーか、メールで庶務まで送る。技師会のハードディスクに全て保存する。

⑤名簿作成中、県に準じて病院名と住所、電話のみとする。自宅住所、電話は載せない。(プライバシー保護のため)

平成14年度第3回理事会議事録

日時 10月17日 16:30より

場所 衣笠病院 講堂

司会 服部副会長

出席者数 20名

議題

1) 千葉会長挨拶

2) 各部報告

① 庶務経過報告 松村理事より (資料参照)

② 会計報告 須藤理事より (資料参照)

③ 学術報告 濱田理事より

11月16日(土) 衣笠病院、15:00より

第91回研究会開催予定

内容

「衣笠病院ホスピス関連」

衣笠病院ホスピス主任医長 奥野滋子先生

会員発表 2題予定では、あるがまだ未確定

司会 加藤静理事の予定

10月11日の合同勉強会 22名参加、ありがとうございました。

④ 広報報告 宮村理事より

会報83号を11月発行予定。

⑤ 福利厚生報告 狩野理事、大石理事より (資料参照)

10月27日カワハギ 定員30名ぐらいで

12月7日スポーツヨコスカ 15時より、忘年会を北の一丁 17時より

⑥ YMBIT 報告 濱田理事より (資料参照)

3) 救急センター報告 松井理事より (資料参照)

歯科大の弘金先生が11月いっぱいまでやめる

徳州会病院の金谷先生が東名厚木病院へ変更

4) 地区委員報告 相ヶ瀬理事より (資料参照)

5) 被曝医療について 宮村理事より

マニュアル作成で月に1回集まっている。今年中には、完成する。

6) その他

① 10月19日にらせんCT研究会開催

② 10月26日MRI技術研究会開催

③ 理事会に資料は事前に渡せるものについては、フロッピーか、メールで庶務まで送る。

技師会のハードディスクに全て保存する。

④ 名簿作成中、93,000円ぐらいで作成できそう。

学術報告

学術 濱田順爾



投稿の方をずっとずっとサボっておりまして、会員の皆様には大変申し訳ありません。

今回ドバッとまとめてご報告いたしますので、感想やジョークは省きます。

1：時はさかのぼり、本年7月6日15:00より、横須賀共済病院5階講堂に於きまして第90回研究会を開催いたしました。プログラムは以下の通り演題5題。参加者58名の大盛況でした。もちろん研究会後の3部合同納涼会への協賛も致しております。(´)v

<賛助会員発表>

- ①「FCRと画像診断ネットワーク ～フィルムレス運用を実現するポイント～」
富士フィルムメディカル 梅沢 智先生
- ②「コニカ新型CR装置について」
コニカ株式会社 阿部俊二先生
- ③「多列化への挑戦 ～マルチスライスCTの最新技術動向と将来～」
東芝メディカル(株)神奈川支社
営業技術部 CT画像担当 佐藤雅浩先生

<会員発表>

- ①「線量測定(CRを十数年利用して)」
横須賀市立市民病院 畠山 徹先生
- ②「RISの導入に伴う問題点と対策」
横須賀共済病院 近藤 明彦先生

2：千葉会長より依頼がありまして、今回初めての試みで横須賀三浦地区の検査技師会、看護協会との合同勉強会の企画への参加を致しました。当学術部と致しましては、勉強会の企画運営ではなく、その開催の会員諸氏への参加呼びかけを行いました。内容は「心電図モニターの読み方」と題され、日本光電の森野先生を講師に招き、以外にハードなムズカシイ内容でした。開催日時は1部基礎編が10月11日(金)18:30～20:30、2部応用編が10月18日(金)18:30～20:30。実際急な呼びかけであったにも関わらず、会員数のべ24名もの参加があり、勉強熱心な会員が多いなあと感激いたしました。(感想じゃん！)

3：去る11月16日（土）15：00より、衣笠病院本館2階管理棟講堂に於きまして第91回研究会を開催いたしました。プログラムは以下の通り。参加者は27名でした。もちろん研究会後の私設懇親会(?)も深夜まで続いたのでした。(^^;) <会員発表>

①『更新した放射線治療装置 東芝 MEVATRON MD2/40AH について』

横須賀市立市民病院放射線技術科 宮村 聖也 先生

②『全面CR化に伴いF/S系使用経験の差による被曝線量の違い

【2000年10月号日放技雑誌】医療被曝ガイドライン（低減目標値）との比較』

横須賀共済病院中央放射線科 大内 芽来 先生

<特別講演>

①『衣笠病院における緩和医療の実際』

衣笠病院ホスピス主任医長 奥野滋子 先生

4：これは本当は学術部の活動では無いのですが、ただいま筆を起しております私濱田が世話人として参加いたしておりますので書かせていただきます。当技師会の有志による学術研究会と致しまして、シェーリング社の呼びかけで始まりまして第1回MRI技術研究会が去る10月26日（土）15：00より、横須賀共済病院管理棟3階第1会議室に於いて開催されました。プログラムは①VTR上映（MRI施行時の注意点）②基調講演「MRIの安全管理」GE横河メディカル TIPクリニカルアプリケーション部 斉藤貴憲先生③新しい肝特異性造影剤SPIOの紹介④座談会形式での自由討論。以上の4部構成で行われました。現在まさにMRI新規導入のアラシと化しております当地区の会員には基礎からの勉強ということでとても興味深い内容であったと思われました。参加者も、初回でありながら24名と、感心の深さが分かりました。

以上

学術部 濱田

横須賀三浦放射線技師会 ホームページ



- 行事がわかる「14年度活動予定表」
- 全国ほとんどの技師会と相互リンクでさらに充実の「リンク集」
- 横須賀の観光情報はこれでバッチリ「よこすかわくわく情報」(横須賀市観光課公認)
 - これはスゴ〜イ「会報バックナンバー」
- これは便利!「会員施設連絡表」!(iモードPC版共に利用可能)
 - なんと!時代の先端!「iモード版」もあるのだ!



衣笠病院
〒238-8588
横須賀市
小矢部2-23-1
Tel
0468521182
トップ

もちろん
J-SKY、EZ-WEBでも
OK!

ホームページアドレス
<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/index.html>
メールアドレス
ymbit@internet.email.ne.jp
iモード版アドレス
<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/i/index.html>
YMBITでは、皆さんに楽しんで利用していただける
ホームページをめざしています。
皆さんからのご意見、ご希望、投稿をお待ちしています!



横須賀三浦放射線技師会